

一般質問



ヤングケアラーの支援・対応について



湖南 WAKU<sup>2</sup> プロジェクト ● 柴田 栄一 議員

**問** 子どもが子どもでいられる街について問う。  
**問** 対象者を早期発見するための仕組みについて。  
**答** 早期発見し支援につなげるためには、学校で児童・生徒の些細な変化に気づくことが重要です。担任だけでなく学校全体で共有し、巡回相談員につなげています。  
**問** 認知度を向上するための施策について。  
**答** 子ども政策課で作成された児童・生徒向けのヤングケアラーのリーフレットを配布し、教育活動の資料として活用することで、子どもたちへの認知度を向上することができると考えています。  
**問** 相談窓口について。  
**答** 今のところ、特化した相談窓口こそありませんが、それぞれの関係機関が専門性を発揮し、連携して支援に取り組んでいきます。

**問** 本市ホームページに掲載について。  
**答** これまでの情報に加え、本市家庭児童相談室や学校教育課、子ども家庭総合センターのほか、児童相談所の相談専用ダイヤルを相談窓口として追加したところです。  
**問** 対象者がSOSの声を安心安全に出せる仕組みについて。  
**答** SOS専用のフリーダイヤルやSNSでの相談窓口をQRコードで紹介しています。さらに、市の学校教育課と家庭児童相談室の電話番号とメールアドレスも掲載しています。  
**問** 具体的な支援・対応について。  
**答** これまでから市の家庭児童相談室や子ども家庭総合センターが対応して児童・生徒とも信頼関係を構築し、本人の思いを尊重しながら寄り添う対応を行っています。



誰もが利用しやすい充実した施策へと



日本共産党湖南市議員団 ● 松井 けい子 議員

**問** あいのりこなんの利用状況等の実績は。  
**答** 令和4年4月から7月末までの4カ月間  

エリア	運行回数	利用者数	相乗り(%)	運行費
甲西南線エリア	2,082回	2,637人	555	328万円
			27%	
医療センター線エリア	1,504回	1,607人	103	165万円
			7%	

**問** (利用者の声について紹介)すぐにも改善できることは、タクシー事業者との協議の中で改善すべきでは。  
**答** 毎月、事業者から実績報告を受ける際に改善できるところは話し合い、すぐに改善します。  
**問** 誰もが利用しやすい図書館にするために  
**答** 家族介護や高齢者、子育て中の方などで図書館に来館するのが難しい方への郵送サービスについての考えは。  
**答** 現在、視覚障がいの方を対象に録音図書や郵送サービスを無料

で行っています。その他の方は郵送料が有料となるため、今後の課題として検討します。  
**問** (アンケートの声を紹介)要望や疑問の声に答える図書館にならないければならない。サービスの内容を周知する必要があるのでは。  
**答** 声に応えられるのか検討し、サービスの周知も必要と考えます。  
**問** 障がい児の教育環境整備や体験学習の充実  
**答** 保護者や教職員は、県に繰り返し特別支援学校の分離・新設を求めてきました。湖南市民の子どもたちのため県への働きかけは。  
**問** 医療的ケアが必要な児童・生徒の通学支援の回数拡大や恒久的な施策となるよう働きかけ、児童・生徒の健全育成に係る県と市町の連携に関する協定書を結び施行しています。